

中小企業の業況は、引き続き持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成22年7～9月期の実績と平成22年10～12月期見通しについての調査結果をまとめた。（回答率94%）本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

業況DI値について、前年同月比の今期（平成22年4～6月）の状況を集計したところ、全業種の業況判断DIは、マイナス横ばいで推移している。

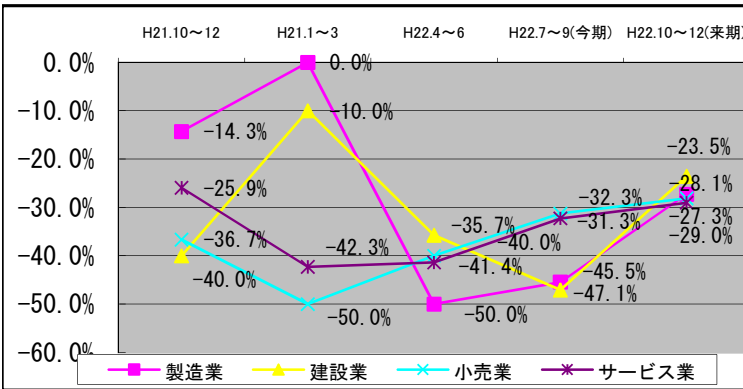
全業種のDI値に見る業況判断は製造業：▲50%→▲45%、建設業：▲36%→▲47%、小売業：▲40%→▲31%、サービス業：▲41%→▲32%となった。製造・小売・サービス業で、若干の回復がみられる一方、建設業は前回に引き続き、悪化であった。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の14.9%、来期設備投資を計画する見通しである企

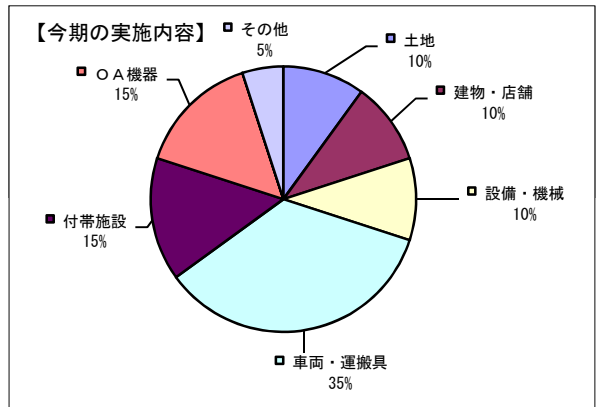
◆業況DI値（今期の状況）

|       | 業況判断 | 前回調査比 | 売上   | 前回調査比 | 資金繰り | 前回調査比 | 仕入単価 | 前回調査比 | 経常利益 | 前回調査比 | 従業員数 | 前回調査比 |
|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 全産業   | -37% | →     | -31% | ↗     | -29% | →     | 1%   | →     | -40% | →     | -7%  | →     |
| 製造業   | -45% | →     | -45% | →     | -36% | →     | 27%  | ↗     | -45% | →     | 0%   | →     |
| 建設業   | -47% | ↘     | -41% | →     | -47% | →     | 6%   | →     | -59% | →     | 0%   | →     |
| 小売業   | -31% | →     | -16% | ↗     | -22% | ↗     | -3%  | →     | -28% | ↗     | -6%  | →     |
| サービス業 | -32% | →     | -32% | ↗     | -26% | ↗     | -10% | →     | -39% | →     | -16% | →     |

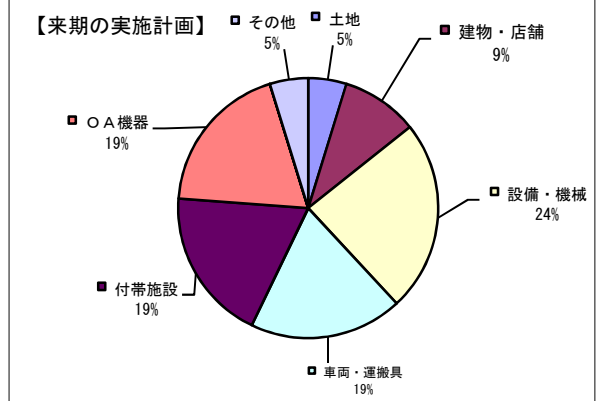
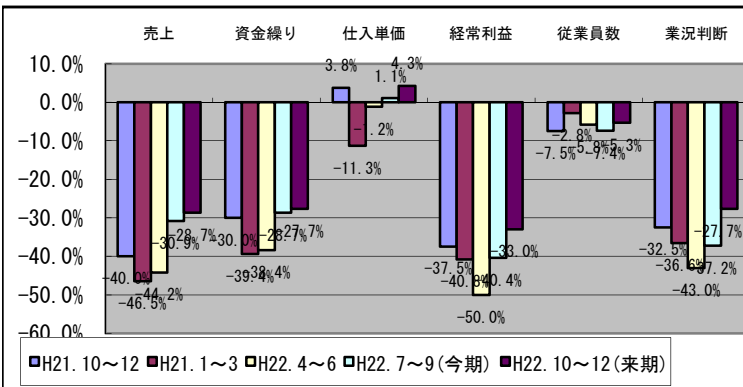
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



◆経営上の問題点

|    | 製造業         |       | 建設業         |       | 小売業         |       | サービス業         |       |
|----|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|
| 1位 | 需要の停滞       | 29.6% | 民間需要の停滞     | 27.7% | 需要の停滞       | 17.3% | 需要の停滞         | 24.1% |
| 2位 | 取引条件の悪化     | 3.7%  | 官公需要の停滞     | 23.4% | 購買力の他地域への流出 | 11.1% | 利用者ニーズの変化への対応 | 21.5% |
| 3位 | 生産設備の不足・老朽化 | 11.1% | 請負単価の低下・上昇難 | 14.9% | 販売単価の低下・上昇難 | 9.9%  | 利用料金の低下・上昇難   | 6.3%  |

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。